



暑かった9月が終わり、いよいよ秋本番です。気温も一気に下がり、過ごしやすくなりましたね。

例年は忙しい10月ですが、今年度はゆっくりと秋の自然を満喫したいと思います。この時期は気温の変化が大きく体調を崩しやすい時期です。風邪に負けないよう「早寝・早起き・朝ごはん」で元気に乗り切っていただければと思います。

園長 松尾康弘



保健コーナー「感染性胃腸炎」

これからの時期、色々な感染症が心配になってきます。園では最近小さいクラスを中心に胃腸炎症状が見られています。症状が見られた場合、医療機関を受診していただき園の状況を伝えた上で診察してください。医師の指示と下記の登園基準を満たしてから再登園をお願いします。

○最後の嘔吐または下痢から24時間経過していて、食欲があり普段の様子と変わらない状態であること。排便自体がない場合は、良便を確認してからの登園をお願いします。

○感染の状況によっては、最後の症状が出た際から2日間お休みしていただく場合もあります。

○ノロ、ロタなどのウイルス性の胃腸炎の場合、2週間～1ヶ月程は便にウイルスが残っていますので、土日祝日等に症状が見られた場合にも園に伝えてください。

○嘔吐や下痢で汚れた衣類はビニールに入れ、フックスタンドにかけ保管させていただきます。流行期は、良便や尿の失禁も感染症対策のため同様の対応をさせていただきます。

○症状の見られるお子様以外の兄弟の登園または保護者の方が感染している場合の登園については症状が出ていなくても潜伏している可能性がありますので、可能な限り家庭保育のご協力をお願いいたします。



お知らせ

にじ組担任の遠藤千尋が
10月23日より産休に入ります。



2日（金） 幼児スポーツ大会
予備日5日（月）
9日（金） 0.1.2.3歳児 歯科検診
12日（月） 運動あそび指導
0.1.2歳児 身体測定
13日（火） 3.4.5歳児 身体測定
30日（金） 避難訓練

10月

11月

12日（月） 0.1.2歳児 身体測定
13日（火） 3.4.5歳児 身体測定
27日（金） 避難訓練

※11月の運動あそび指導は未定です



子育てのヒントを毎月掲載します

汐見稔幸著「元気になる子育て本②3～6歳 能力を伸ばす個性を光らせる」より



親が見本を示して、しつけを身につけさせる

☺どうしてルールが大事なのがわかれば、しつけもしやすい

※しつけ⇒基本的生活習慣や社会での最低限のルールなどを教えてあげること

幼児期になると「約束やルールを守ること」「何故それが大事なのか」ということがわかってきます。自意識も育ち周りからの評価に関心がでてくるので、本格的なしつけがしやすくなり、子どもは意欲的・自主的にやりたがります。「電車には寝たい人や本を読みたい人もいるから静かにしようね」と教えれば、「そうか」と理解し、騒ぐこともなくなるでしょう。



☺強制的なしつけより納得できるしつけを

※では「そういうものだ！（押しつけ、強要）」というようなしつけについてはどのように考えればいいのでしょうか？



例えば、「部屋を片付けなさい」と言ったとしても「散らかっているよりきれいな方が気持ちいい」とわかるのはずっと先。幼児には「どうして片づけなければいけないのか」は理解できません。また、ひとつの方法として「物事がわかってからではかえって覚えが悪くなるので幼い頃に形だけでも身につけさせる」という考えもあります。しかし、「しなければならぬ」と一方的に、しかも強く押しつけると大人になって柔軟にものが考えられなくなってしまいます。現在のような変化の激しい複雑な社会では価値判断を柔軟にしていかなければなりません。そういう時代に「〇〇をしない人間は最低だ」「〇〇ができない人間は全てにおいてだらしがない」など正しいことや間違っていることは初めから決まっていると刷りこまれると柔軟な思考がしづらくなったり、社会的な不適応を起こしてしまいがちです。命に関わることで以外子どもが自分で悩んだり葛藤したりしながら「これは大事だな」と納得して身につけることに重きをおいたほうがいいのです。

☺しつけの原点は親の見本

とはいえ、基本的な社会ルールは最低限のしつけとして早くに身につけておかないと困ることがあります。公共の場などでのルールは守れないと迷惑がかかりますし、身の危険もありますから丁寧に身につけてやります。この時期にきっちりだけでなく徐々にできるようになっていきますから、しつけの本格的な出発点なのだというくらいの認識で良いと思います。この時に一番大事なことは親が見本を示してやることです。挨拶でも何でも、強要されると心が重くなり、楽しいものでなくなりますし、気持ちがこもらなくなります。「こうしなくてはダメ」ではなく「こうするといいんだよ」プラスの方向でしつけをします。挨拶、マナー、ルール、優しさ、感謝や謝罪など、親は率先して見本を示すことが大事です。なぜなら・・・

子どもは親の行いを見て学ぶのですから。



わらべうた「ちょちょあわわ」



ちょ ちょ ちょ あわわ かい ぐり かい ぐり とっ との め



おつ - む てん てん ひ じ ぼん ぼん

①ちょちょち
子どもの両手をもって
2回合わせる



②あわわ
片手または両手を口に



③かいぐりかいぐり
両手を胸の前で上下に
くるくるまわす



④とつとのめ
左手の平を右手指で
つつく



⑤おつむてんてん
片手または両手で
頭を軽くたたく



⑥ひじぼんぼん
片手でもう一方の肘を
たたく

